

 佐久市議会だより

ギカイの窓

2022年(令和4年)11月1日 No.70

市民の広場

NPO法人 佐久市スポーツ協会

トピックス

令和4年9月定例会
一般質問 15名の議員が市政を問いました
令和3年度決算を認定しました。

11/19(土)
議会報告・意見交換会
詳しくは20ページを
ご覧ください。

表紙

紅 陽

撮影者：ららぼん
場所：貞祥寺

議会だより表紙大募集中!!

詳しくは19ページを
ご覧ください

NPO法人 佐久市スポーツ協会

コロナ禍で、運動を控えてしまっている方も多いのではないのでしょうか。

そんな中、対策を提案し、市民の体力向上や健康増進を始め、スポーツ振興に奮闘している佐久市スポーツ協会の皆さんにお話をお聞きしました。

市民の体力向上、競技力向上を目標に、市民スポーツの普及推進を通じて、健康で明るい、元気な佐久市に

—いつから活動していますか

昭和36年に旧佐久市体育協会として始まり、平成17年に旧4市町村が合併、平成28年にNPO法人とし、令和4年9月30日から「体育」を「スポーツ」に変更して、現在「NPO法人佐

久市スポーツ協会」と名称を改め活動しています。

—団体の目的について教えてください

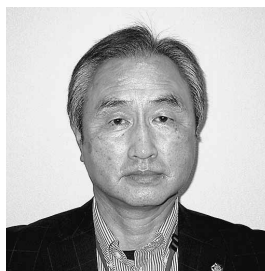
スポーツ文化の高揚に努めて、市内スポーツ団体の連絡調整とスポーツ精神を養い、スポーツ

を通じて市民の体力向上を図り、健康で明るい、元気な佐久市にしていくなことを目的に活動しています。

—コロナ禍で感じていること、苦労していることは

新型コロナウイルス感染症で、

練習ができないばかりか、地域の大会が延期になってしまっているスポーツもあります。そういう中でスポーツにいそめず、体力が落ちてしまっている市民の方もいるように感じています。現在、市内スポーツ団体と一



副会長
柳澤 正巖 さん



会 長
伊坂 倉一 さん



副会長
土屋 敏子 さん



事務局長
吉澤 貢 さん



副会長
大塚 英明 さん



副会長
山浦 稔 さん



緒に試行錯誤を重ね、コロナ対策を十分に行い、各種大会やスポーツ教室を開催できるように努めています。

ぜひ、多くの人がスポーツを楽しみ、体力向上、健康維持に役立ててもらえたらと考えています。

―議会や行政に望むことは

利用者のために地域のスポーツ施設の整備を、今まで以上にスピード感をもって進めてもらいたい。また、もしものことを考えてAEDを体育館だけではなく、グラウンドを利用する各種団体も使用できるように検討してもらいたい。

そして、人口が減少し、スポーツ人口も減少する中で、中学校等の部活動の地域移行は丁寧に行ってほしいと考えています。

今後もスポーツ協会として佐久市とは車の両輪として、部活動の地域移行をはじめ、更なるスポーツ文化の振興と市民の体力向上、競技スポーツのレベルアップ、市民スポーツの普及推進のため、協力していきたいと思っています。

令和4年 9月定例会

令和4年9月定例会を8月30日から9月29日までの31日間の会期で開きました。専決処分報告1件を承認、条例改正案、令和4年度補正予算案及び令和3年度決算認定など29件を可決及び認定、諮問案を1件を同意、意見書案1件を可決しました。



提出された議案の詳細はこちらをご覧ください。

令和4年佐久市議会9月定例会 議案審議結果

議案番号	議 案 名	審議結果
51	専決処分の報告について	◎
52	佐久市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
53	佐久市防災行政同報無線通信施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎
54	佐久市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	◎
55	佐久市公園条例の一部を改正する条例の制定について	◎
56	佐久市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定について	◎
57	小字の区域の変更について	◎
58	佐久市土地開発公社の解散について	◎
59	市道の路線認定について	◎
60	市道の路線廃止について	◎
61	令和3年度都市構造再編集集中支援事業佐久市野沢会館改築（本体）工事請負契約の変更について	◎
62	令和3年度都市構造再編集集中支援事業佐久市野沢会館改築（電気）工事請負契約の変更について	◎
63	令和3年度佐久市一般会計歳入歳出決算認定について	◎
64	令和3年度佐久市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
65	令和3年度佐久市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
66	令和3年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計歳入歳出決算認定について	◎
67	令和3年度佐久市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
68	令和3年度佐久市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎

69	令和3年度佐久市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	◎
70	令和3年度佐久市環境エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
71	令和3年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
72	令和3年度佐久市茂田井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	◎
73	令和3年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計決算認定について	◎
74	令和3年度佐久市下水道事業特別会計の利益の処分及び決算認定について	◎
75	令和4年度佐久市一般会計補正予算（第7号）について	◎
76	令和4年度佐久市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	◎
77	令和4年度佐久市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	◎
78	令和4年度佐久市一般会計補正予算（第8号）について	◎
79	令和4年度佐久市一般会計補正予算（第9号）について	◎
80	令和4年度佐久市環境エネルギー事業特別会計補正予算（第1号）について	◎
諮問 第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	◎
意見書案 第4号	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出について	◎

【結果の表示】 ◎全会一致で可決・認定・承認・同意
 全ての議案で全会一致だったため、賛否一覧はありません。

陳情の審議結果

番 号	陳 情 者	要 旨	審議結果
令和4年 陳情第3号	佐久市塚原2357 桜花会 会長 小林幸重	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出を求める陳情	採択

●決算特別委員会

9月定例会では、決算認定議案の審査を行うため、議長と議会選出監査委員を除く24名で構成する決算特別委員会を、定例会初日（8月30日）に設置しました。正副委員長の互選の結果は以下のとおりです。

また、決算審査の内容については8ページをご覧ください。

なお、最終日（9月29日）、決算認定議案については全て全会一致で原案認定と決しました。

委員長 清水 秀三郎 副委員長 木内 義春

告 報 査 審 員 委 任 常

条例案3件、事件案4件の計7件を原案可決。新規陳情1件を審査

総務文教委員会 委員長 三石 義文

佐久市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定、令和3年度都市構造再編集集中支援事業佐久市野沢会館改築工事請負契約の変更についてなど7件について審査し原案可決と決しました。

佐久市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定については生涯学習センターの改築に伴い他の地区館と同様に直接管理し整備する貸室の使用料設定のための改正。佐久市土地開発公社の解散については今後、公共用地の先行取得等予定がなく、所期の目的を達し、役割をはたしたと認められるので同公社を解散し、保有する現金、預金及び不動産については清算手続の終了後佐久市に帰属することを確認。「女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出を求める陳情」については採択。



佐久市土地開発公社所有宮東団地

条例案1件、事件案2件を原案可決

経済建設委員会 委員長 大塚 雄一

佐久平駅南土地区画整理事業において新たに整備される砂田公園及び佐久平南広場を都市公園に加えるとともに、佐久平南広場を指定管理者が指定する公園とするための公園条例の改正案について、原案可決と決しました。

公園条例の改正については、委員による現地調査を行った上で審査を行いました。

砂田公園は、佐久平駅南土地区画整理事業地南側に整備される公園で、植栽工事を除き、9月末に完了、供用開始となることを確認しました。

佐久平南広場は、区画整理事業地北側に整備される広場で、芝生広場、キッチンカーペース、屋根付き広場など、イベントでの使用のほか、行きかう人々の憩いの場として整備を進めており、年度内の完了に向けて工事を進めていることを確認しました。



整備が進む佐久平南広場

条例案1件について原案可決

社会委員会 委員長 小林 歳春

議案第54号佐久市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について審査を行い原案可決と決しました。11月1日供用開始の野沢共同作業センターを決算特別委員会の委員とともに現地視察しました。

佐久市印鑑条例の一部を改正する条例の制定は、個人番号カードの普及促進と市民の利便性向上を図るため、印鑑登録証明の申請に当り、個人番号カードを印鑑登録証とみなし申請できることを確認。委員からシステム改修は必要なのかとの質疑に、説明員からはシステム改修は特にしていないとの答弁。マイナンバーカードが本人利用に限定されていることから代理人が証明を申請する場合は印鑑登録証が必要であることを確認。またマイナンバーカードの普及が低いことから、自宅でスマホ申請できることをPRするなど要望しました。



市民生活に直結する予算を可決しました



令和4年度一般会計及び特別会計の補正 予算案6件を全会一致で原案可決

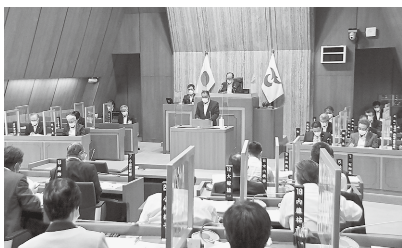
予算委員会 委員長 土屋 俊 重

物価高騰対策のための、市民一人当たり3千円の商品券及び、デマンド交通さくつと等のキャッシュレス決済システム導入等の事業費に係る補正予算案を審査し、全会一致で原案可決

この9月の定例会での議決により、一般会計予算の総額は約537億円になりました。

今回の補正は、コロナ禍における原油や物品等の価格高騰に係る商工業者及び、市民生活への支援として商品券の配付や、情報化を推進するDX推進の一環として導入する、総合窓口システムに係る受付カウンター改修や、路線バス・デマンド交通等のキャッシュレス決済システム導入等の予算が主な内容でした。

付託された予算案6件は、予算委員会の各分科会による審査を経て、慎重審議の結果、全会一致で原案可決と決し、本会議で予算委員会における審査結果の報告を行いました。



予算委員会での審査内容を本会議において報告

総務文教分科会 分科会長 三石 義文

電算システム管理費について、総合窓口システム構築に合わせ、市民が住所移転等の届け出を行う際に、椅子に座って手続ができるようにバリアフリー化するための改装経費であり設計、施工、監理一式の委託を公募型プロポーザル方式により業者を選定することを確認し、バリアフリー化を進めるにあた

り、利用者などからも意見を聞き当事者に寄り添った改装を要望。社会教育事業費の満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度負担金については市内の小中学校でも修学旅行で訪問している。価値ある施設と思うので、市内の小中学校等に本市市民が無料で入館できる日があることなどを含め紹介してほしいとの要望。

経済建設分科会 分科会長 大塚 雄一

商工費のプレミアム付商品券助成事業費は、物価高騰対策のため、全市民に一人当たり3千円のギフト券を配布するための経費であり、登録店舗であれば大型店、中小店と区別なく使える共通券であることを確認しました。

また、取扱い店舗におけるギフト券の換金は、市内の金融機関で行えるようにし、素早

く現金化できるようにしたことを確認した上で、分科員からは「前回までは換金手続に時間がかかり大変だったという声も聞いていた。今回の方法は事業者にとって大変ありがたいことと思う。今後においても、市民や事業者に寄り添った取組をお願いしたい」との意見が出されました。

社会分科会 分科会長 小林 歳春

民生費の「児童保育事業費・市単児童保育事業費・幼稚園助成事業費」は、保育所、認定こども園、小規模保育事業所及び幼稚園における給食材料費の高騰に伴いこれまでどおりの栄養バランスや量を保つ給食の実施を図ると共に、保護者の負担軽減のための経費であり、一食あたり10円の補助の根拠として、

昨年と今年5月の消費者物価指数の上昇率4・1%を現行の給食費に掛けて算出した額である事を確認。衛生費の新型コロナウィルスワクチン追加接種事業費は一定の期間が経過した12歳以上の市民でオミクロン株対応ワクチン接種経費、対象者は8万1千人で個別接種と集団接種を予定していることを確認。

令和3年度の決算を認定しました



決算認定全議案を全会一致で原案認定

決算特別委員会 委員長 清水 秀三郎

当委員会では、令和3年度一般会計・特別会計合わせて12件の決算認定議案について本会議で付託を受け、予算が公正・適正・効果的に執行されたのか、市民の福祉向上にどのように寄与したのかを審査しました。

審査に当たっては、総務文教・経済建設・社会分科会の3分科会を設置し、専門性を活かし、より詳細な審査を行いました。

各分科会においては、限られた審査時間の中、様々な質疑・意見・要望が出され、慎重審査の結果、全議案、全会一致で原案認定と決しました。



決算特別委員会での審査内容を本会議において報告

総務文教分科会 分科会長 三石 義文

徴税費に関連して、令和三年度の収納率が97・2%と収納率の向上に努力されている。財政状況はトップクラスであるので収納率もトップクラスになるよう、尽力願いたい。河川洪水ハザードマップ作成業務委託料に関して、説明会には女性の参加者も多く、一人ひとりが身近な課題に感じている。ハザード

マップは避難時の大きなツールなので市民に定着するよう工夫してほしい。佐久市奨学資金特別会計について、新規貸与者の減少はSAKUコスモス育英基金の給付を受ける方、また国の奨学金制度の給付面での充実があり、市の制度では併給を認めていないため国の制度が影響していると思われることを確認。

経済建設分科会 分科会長 大塚 雄一

きなかったことを確認しました。

農業費の水産業振興費について、コロナ禍で多くのイベントが中止となる中、県の地域発元気づくり支援金を活用した佐久鯉のPRイベントは3回実施するのとなったこと、また、イベントは、大宮駅前及び東京の銀座NAGANOで開催したが、コロナ感染拡大期と重なり直接出向いた販促を行うことがで

きなかったことを確認しました。この事業は令和4年度も継続している事業であることを確認した上で、分科員からは「佐久鯉の販促は説明しながら味わってもらうことが効果的であると思う。今後もしイベントを活用し更なるPRに努めていただきたい。」との意見が出されました。

社会分科会 分科会長 小林 歳春

「心のほつとライン・佐久」では、男女別の相談割合で男性より女性が多い事を確認。自殺者は男性が多いので相談できる場所が大事、との質疑に、男性にもSOSを発信してもらうため、企業からもアプローチしてもらうよう働きかけていることを確認。分科員からSOSを出しやすい環境作りと、SOSをキャッチできる能力も大事なので引き続き取

り組むことを要望。不妊治療に要した費用への補助金で成果を上げている「コウノトリ支援事業」が事実婚の夫婦にも対応できることを確認。浅間総合病院関係では公立病院経営強化プラン策定に関し、今後プラン策定で工夫し黒字化に努力されたいとの意見が出されました。

- 下水道管理センターは、令和元年東日本台風により被災し、総事業費約20億6千万円をかけて本復旧・再度災害防止策等を行いました。このうち、令和3年度には、約1億9千万円をかけて災害復旧関連工事をを行い、令和3年11月18日に完了しました。



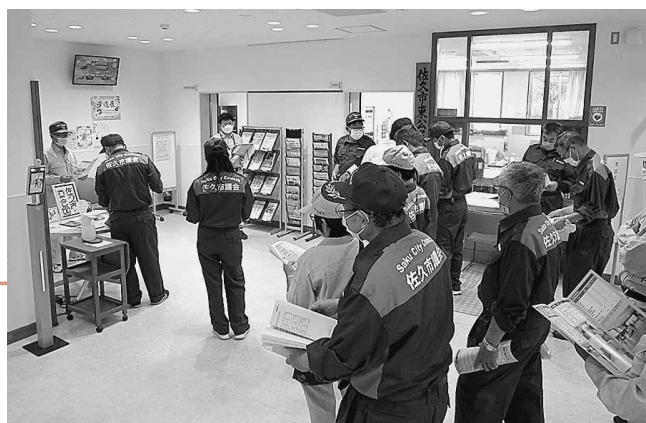
- 瀬戸区の河川等土砂搬出量は、令和3年度までに15万立方メートルの浚渫土を受け入れています。令和4年度は5万立方メートルを受け入れる予定です。

- 野沢会館は約11億2,255万円をかけて、改築工事中です。令和4年12月28日までに施設は完成予定です。



- 野沢共同作業センターは、約1億8千万円をかけて完成しました。令和4年11月1日から供用開始予定です。

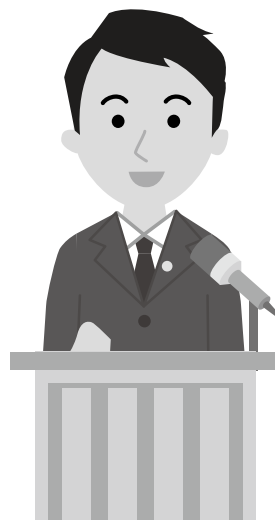
- 佐久市東会館の改築工事は平成29年度から令和3年度まで総事業費約6億7千万円をかけ、令和3年12月4日から施設利用を始めました。



- 佐久平駅南土地区画整理事業は、約13億6千万円をかけて幹線道路築造工事が終わり、令和4年9月27日道路の開通式が行われました。

15名の議員が市政を問いました

一 般 質 問



- 一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また、正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。

一般質問とは

議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質することをいいます。

ひとくちメモ



動画配信 QRコード

Q

須。厚労省実施の、サポートが必須。雇用、定着にはサポートが必須。昨年年度採用14人中2人途中退職。は身体障害13人、精神障害4人。2・6%を下回っている。内訳は法定雇用率20人で実雇用率は2・58%。法定雇用率は2・6%を下回っている。内訳は身体障害13人、精神障害4人。昨年年度採用14人中2人途中退職。雇用、定着にはサポートが必須。厚労省実施の、サポートが必須。

A

Q 実状は。

◆市としての障害者雇用

ない。今後一切関わりは持たない。世界日報の取材を受け記事掲載があった。今後一切関わりは持たない。これまで、マスク272枚の寄付、ピースロードで表敬訪問、フラッグへのメッセージ記入、世界日報の取材を受け記事掲載があった。今後一切関わりは持たない。

A

利用されることへの認識及びこれまで市と関わりはあったのか。社会的に問題の多い活動をしている可能性の高い団体と認識している。一定の地位の人が関わると、安心感を与える可能性がある。今後慎重に対応する。

Q

◆旧統一協会との関わり

旧統一協会との関わり・障害者雇用・災害から市民の安全を守る課題

A

養成講座は活用しているか。

Q

今後活用していきたい。

A

県が実施しているチャレンジ雇用（1年間県で採用し、一般企業への就職を後押しする）の検討はしないか。

◆その他の質問

流水量の増える、田子川・滑津川はじめ、支流の洪水対策・福祉避難所の民間事業所協力や、個別避難計画作成について



様々なフロント団体を名乗る旧統一協会



ないとう ゆうこ
内藤 祐子

臼田新小の給食センターについて 浅科小の給食室廃止について



しおかわ ひろし
塩川 浩志

Q 来春開校の臼田新小で敷地内に給食室を設置するメリットは。

A 子どもが調理の様子を見やすく、子どもの感想をすぐに聞けることや学校と連携しやすいことなどがある。

Q 浅科小の給食室廃止で想定されるデメリットは。

A 給食調理の様子を子どもたちが直接感じられなくなること、センターから学校までの配送時間が長くなること、設備や新たな配送車、コンテナ、食器類の規格統一にコストがかかることなど。それらの課題は別の視点で食育に取り組んで補ったり、スケールメリットを活かして中長期でコスト削減したりしていく。

A 栄養士が子どもと一緒に給食を食べる頻度は減ったが、限ら



佐久城山小の給食室の配膳風景
(2015年3月撮影)

れた機会を有効活用して丁寧な説明に努めている。マイナスの意見は届いておらず、センター給食は自校給食と比べてそんな

Q 今回の変化を後々検証できるよう、浅科小の児童や保護者にアンケートを行う考えは。

A 子どもたちの声は真摯に聞いていきたい。

Q 子ども目の目線で市の給食のあり方を根本から考える場を設ける考えは。

A 貴重な指摘として受け止めます。

長野欧州貿易支援機構について



しみず ひでさぶろう
清水 秀三郎

Q 生産者、企業にとつての輸出は、国内輸出商社への卸売が

実情であり、本当の価値に対する対価が得られていない。生産者がダイレクトで欧州の商社、シェフ、商店等へ輸出を行ってこそ、利益の拡大、知識や情報、知見の蓄積、欧州展開によるブランド力の向上が見込まれる。当該機構の概要と行政会員である佐久市の支援について問う。

A 機構の活動は、県の特産品などの輸出についてアジア圏と比較して進出の少ない欧州への新規市場開拓を進め、ブランドイメージの高い欧州での優位性を活かした付加価値の高いブランド戦略を志す生産者や企業の輸出を支援する組織。既にフランス・パリとドイツ・フランクフルトにテストマーケットが行えるアンテナショップと、食の専門家や欧州事情に精通した実績ある現地コーディネーターを確



信州佐久の地酒を世界へ

保しており、これまでにない総合的な輸出支援ができる組織と期待している。市内の生産者や企業が経営発展に向けて欧州への輸出に取り組む場合に、展示会等に参加する経費の助成措置を用意する。今後、具体的な取組が進んできたところで、状況に応じて必要な支援策を検討していく。行政間の連携については、県内市町村と機構の理念を共有し、また、欧州への輸出の意欲喚起に向けたセミナーの開催など事業者への周知を図る。

新型コロナウイルス、濃厚接触者の投票について 小中学校の学級人数と小学校の副読本について



しろた りょう
城田 領

Q

陽性者、濃厚接触者と判断された場合、選挙時における投票行動について、どのような対策等があるのかを伺います。

A

罹患者については、当該選挙期日の4日前までは、「郵便等投票」の規程に準じて、投票ができるよう当面の間の特例として昨年6月に施行されています。

A

現況、市内17小学校の1学級あたりの平均在籍生徒数は24・8人。市内7中学校の1学級の平均在籍数生徒は30・1人となっています。

Q

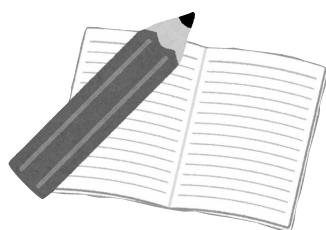
昨年9月議会で「ゆめ・花・さくし」副読本の成り立ちや意義について答弁をいただきました。

A

今回は編纂について伺います。編纂作業は、授業で活用する小学3年生の担任、各小学校の社会科主任、当番校長を世話役として構成されています。活用内容は、3年生全児童に配布し、社会科の各単元において活用しています。

Q

さらなる少人数学級との話が散見されていると感じます。長野県は、国に先駆けて35人学級となっていますが、さらになると30人学級となりますが、客観的数字で把握したいので小中学校の学級人数について伺います。



Q

市として川西赤十字病院の役割をどのように認識しているのか伺います。

A

地域の皆様の身近な医療機関として地域医療の充実に貢献していただいております。川西地域唯一の入院リハビリテーション機能を有し、佐久市地域完結型医療におきましても、急性期入院からの患者の受入れ、在宅までの橋渡し、また、かかり付け医院としての診療など、川西赤十字病院は、地域に根差した医療機関として、無くてはならない公的病院であると認識しております。

Q

今年度で組合からの補助金が終了するが、今後の補助金の動向について伺います。

A

補助金の継続と電子カルテシステム構築に係る補助金の増額について要望書が提出されました。現在、川西保健衛生施設組合と構成市町による協議がはじ

川西赤十字病院について 佐久市の今後の農業について



おつか ゆういち
大塚 雄一

Q

まったところでございます。スマート農業への佐久市の考えについて伺います。

A

第二次佐久市農業振興ビジョンにおいて、生産の安定、作業の省力化、担い手の確保の観点からスマート農業技術をできるだけ速やかに生産現場に普及推進することとしております。

Q

農業後継者に対する支援について伺います。

A

地域農業を維持するため、戦略的に新規就農者と農業後継者の確保育成に努めてまいります。



地域になくてはならない川西赤十字病院

デマンド交通「さくっと」の本格運行に向けて・学校給食費を無償化に



こばやし まつこ
小林 松子

佐久市の防災の現状について



つつや ひろこ
土屋 啓子

◆デマンド交通「さくっと」

Q 実証運行の中で明らかに became した課題とその改善については。

A 課題としている内容は、①予約が取れない状況が増えてきていること。②乗り継ぎ回数の改善。③病院などへの停留所の設置などがある。課題に対して、運行エリアの見直し、デマンド交通車両の増車、停留所設置基準の整備などについて慎重に検討していく。

Q 休日運行、正午から午後1時及び午後6時までの運行時間拡大の要望に対応できないか。

A タクシーとの「すみ分け」を行い、タクシー事業を「圧迫」せず、共存した運行を実施している。ドライバー不足などがあり、休憩時間の確保から、現状では運行時間の拡大についての対応は考えていない。

◆学校給食費を無償化に

Q 佐久市ではここ6年間で年少

A

学校給食費は受益者負担を大前提に考えていることから、給食費の補助は考えていない。国の交付金を活用し、高騰する食料費の増額分については、今定例会で予算計上している。

2022年度 佐久地域の各市町村の学校給食費無償化実施状況一覧

市町村	無償化を実施	実施期間の状況
小諸市		
軽井沢町	○	恒久的
御代田町	○	恒久的
立科町		
佐久市		
佐久穂町	○	今年度末まで
小海町	○	恒久的
南牧村	○	今年度末まで
川上村	○	今年度末まで
南相木村	○	恒久的
北相木村	○	恒久的

2022年9月5日現在

Q

昨年全国各地で風水害が起きている。市では災害が発生した時、また発生しそうな場合の避難所・避難場所の開設の判断と運営について。

A 19号台風の経験を教訓に、開設・運営が迅速に対応できるように準備していく。

県や気象台からの情報を考慮し、避難所を選定し、必要に応じて区や関係機関と調整し開設を決定する。市の地域防災計画に従い各対策部が活動にあたる。責任者は、状況確認しながら運営の任務にあたり、本部と連携を図りながら運営する。

Q

避難所開設訓練や教育はどのように行っているのか。

A 避難所における職員の対応力向上が課題であった。令和2年より対策部全職員を対象に、基礎研修型訓練・避難所を再現した実践型訓練を実施している。昨年野沢地区・本年中込地区



避難訓練でのパーティション組み立て

A

はじめから開設できないのか。状況に応じながら、避難開始当初から開設できる体制整備を進めると共に、「個別避難計画」の取組も合わせて進めていく。

Q

で「避難所開設・運営訓練」を、職員と合同で実施した。「女性専用共有スペース」「福祉避難所」「ペット同行避難」などの説明も合わせて行った。

福祉避難所は2次避難所となっており、災害の中、他の場所への移動は困難である。

新型コロナウイルス感染症対策の わかりやすい周知を

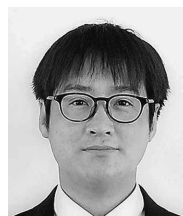
◆新型コロナウイルス対策のわかりやすい周知を

Q 第7波では、「保健所への連絡がつながりづらい」との市民の声があった。市民の不安の解決のため、市の公式LINEや閲覧板を使い、最新情報のわかりやすい周知を行うことはできないか。

A 市のホームページやSNS、FMさくいだいら、佐久ケーブルテレビ等で情報発信を行っている。今後も広くわかりやすい情報の提供に努めていく。

Q 「小学校休業等対応助成金」を申請できなかった保護者から「もっと周知してくれていたら」との声があった。保護者への周知の状況はどのようなになっているのか。

A 小学校、保育園等において、当制度のチラシ等を印刷して配布した他、各学校、保育園で工夫しながら周知をしている。



みついし 三石 さとし 志知

Q 「小学校休業等対応助成金」

が11月まで延長となるため、再度メール連絡配信システムも使い、しっかりと周知することはできないか。

A メール連絡配信システムについては、各学校のルールに基づいて運用している。学級閉鎖等の状況に応じて、各学校が周知方法の選択肢と出来るよう、検討していく。

◆その他の質問項目

・高齢者を熱中症から守るため、エアコン設置の助成制度を新設できないか

・佐久市に寄贈される井出孫六さんの蔵書等の収蔵場所と今後の活用方法について



市民生活利便性向上について 保育環境改善について

◆おくやみコーナー設置について

Q 本市に提出される死亡届の年間件数は。

A 令和3年度は1252件。

Q ワンストップでのおくやみコーナーの設置ができないか。

A スペースの確保、人員配置等が課題。来年度からの総合窓口システムを最大限に活用しながら、窓口対応に心掛ける。

Q 公共施設の男子用トイレにサニタリーボックスの設置ができないか。

A 市民の利用が多い公共施設を中心に、管理上の事情に配慮する中で、可能な限り多くの施設での設置に向け、前向きに検討する。

◆保育園での使用済紙おむつの持ち帰りについて。

Q 公私立保育園での紙おむつの保管及び処分状況は。

A 保管用のバケツや袋で一時保管し、降園時に合わせ、新聞紙



こばやし 小林 としはる 歳春

に包み、ビニール袋に入れ、園児のカバンに結ぶ等して保護者の皆様に持ち帰っていただいている。

Q 衛生面や感染症等を考慮して保育所で処分できないか。

A 保護者の負担軽減、衛生面、保育士の個別の作業等の負担軽減につながるメリットがあるが、施設での保管のため周辺への臭い対策や保管場所の確保の課題がある。今後施設での処分について検討を進めていく。



地域の魅力を生かした観光の振興・ 犯罪被害者等への支援について



こがねざわ あきひで
小金沢 昭秀

◆地域の魅力を生かした観光の振興策について

Q 市内の歴史的建造物や街道、食文化、豊かな自然などの観光資源を生かしていくための取組について伺う。

A 1点目は、これまで単独でPRしてきた観光資源を旅行者ニーズに組み合わせて、地域の魅力をモデルコースとして構築する。2点目は、ビックデータを活用し調査分析をし、顧客ニーズの把握に努める。3点目は、フリーペーパー、ウェブマガジン等の発行による観光情報を効率的・効果的に届けるための取組をする。

◆犯罪被害者等への支援について

Q 日常生活の支援と二次被害防止策の考え方について伺う。

A 方向性の柱として、1つ目は、「様々な経費負担の増加に対応する経済的負担の軽減」に取組む。「支援金」の支給を考えて

いる。2つ目として、「犯罪被害を軽減し日常生活の再建を目指す支援」に取り組む。既存施設の活用や「日常生活の営みを維持するための支援」、心理面や就労面での支援をしていく。3つ目として、「誹謗中傷などの二次被害防止を図る施策」に取り組む。支援の必要性に関する教育・啓発等を通じて、地域社会全体で犯罪被害者等を支えていくための理解を深めていく施策を講ずる。



内山牧場キャンプ場

デジタル社会への取組について デマンド交通「さくっと」について



わたなべ やすのり
渡辺 康徳

◆デジタル社会への取組について

Q 導入を予定している総合窓口システムについて。

A 市民課の窓口においてタブレット端末での申請が可能となり「書類を極力書かなくて済む窓口」を構築するもの。市民窓口での申請により他部署で必要な系統に関しても情報共有できるシステムで県下19市初の実施となる。

Q マイナンバーカードの普及促進に向けた取組と今後の予定について。

A 普及促進に向け区や企業への出張申請受付やイオンモール佐久平店での出張窓口開設などで推進。

◆デマンド交通「さくっと」について

Q デマンド交通「さくっと」の実証運行状況について。

A 本年8月末時点の登録者数は3137人、男性が1066人、女性が2071人、75歳以上の

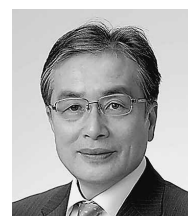
登録数が1908人で全体の6割を占めている状況。

Q 現状は75歳以上の免許証返納者が自宅前乗降が対象となっているが元々免許証を取得していない方々で75歳以下ではあるが足腰の不調など状況に応じて自宅前乗降の対象とならないか。

A 現時点では対象外となっているが本当に困っている人のための公共交通の観点から今後検討。



穂の香乃湯の民営化方針について 佐久鯉ブランドの育成について



たかなぎ ひろゆき
高柳 博行

Q 穂の香乃湯に対する市の認識と今後の方針については。

旧浅科村時代にふるさと創生事業の一環として、市民の健康増進、地域間交流の推進、福祉の向上のため整備をした施設であり、現在は佐久市振興公社が指定管理運営をしているが、大変厳しい経営状況が続いている。施設の機能性、経済性などを考慮すると、当該施設の行政財産としての用途を廃止し、普通財産とした上で、民間事業者への譲渡または貸付けを検討している。また並行しサウンディング型市場調査を実施し、その結果民間活用が難しいと判断される場合は、施設の廃止も検討しなくてはいけない。

住民説明については。

10月を目途に、関係住民の皆様説明を申し上げ、ご意見をいただきたいと考えている。調査結果についても、住民説明会



を開催し、丁寧に説明の上、相互理解が深まるよう取り組む。

佐久鯉に対する市の認識は。

江戸時代より市民の食卓を潤してきた大切な食文化であると共に、貴重な観光資源でもあると認識している。

支援としての取組は。

物価高騰による飼料価格の上昇など生産環境は大変厳しい状況となっている。養殖業者の経営安定を図るため、飼料価格の高騰分に対する支援措置を今定例会に予算案を提出した。

社会基盤整備として橋梁の維持管理は 保育士を取り巻く環境について



きうち よしはる
木内 義春

市道の橋梁について。

市内では現在751の橋梁を管理している。そのうち平成26年から30年の5か年で743橋梁の点検が終わった。点検結果では、診断判定区分Ⅰ「健全」231橋、区分Ⅱ「予防保全段階」459橋、区分Ⅲ「早期処置段階」53橋、区分Ⅳ「緊急処置段階」は0橋であった。

長寿命化修繕計画について。

市内の橋梁は、建設後30年以上を経過しているものが多い。令和2年度からの10年間で、判定区分Ⅱの85橋と、判定区分Ⅲの51橋の合計136橋を優先的に、長寿命化計画を実施する方針となっている。

測量設計業者・建設業者との連携について。

災害復旧や除雪など地元業者の皆様の協力が不可欠と認識している。今後の社会インフラの老朽化に対処するために新技術

の導入が図られている。定期的意見交換を行い、調査研究を重ねている。

保育士の働きやすい職場環境について。

子どもたちの安全安心な環境を守るため、職員体制をバランスよく配置し、園長を中心に職員間で連携を図り、予期せぬ事態や保護者との様々な相談に対応している。これらに加えてICT化を進め、保護者の皆様の利便性の向上と、保育士の業務の効率化や負担軽減を図っていく。



フィルムコミッションについて 若手アーティストへの支援について



こばやし ひであき
小林 英朗

Q

映画やテレビドラマ、CMなど映像作品の、ロケーション撮影の支援を行う、フィルムコミッションについて。

A

フィルムコミッションは日本全国に約350団体あり、当該ロケーション地域が映像化され、観光客の増加や地域の活性化が期待されるものである。

Q

佐久市では現在、独自のフィルムコミッションは設立されていないが、佐久市観光協会が「信州フィルムコミッションネットワーク」に所属し事業を実施している。活動内容としては映像作成者の要望を受け、ロケーションの紹介、連絡調整、食事や宿泊場所の手配など、また、作品のSNSを使つてのPR活動を行う場合もある。

若手アーティストを支援すること、で、賑わいのある街づくりにつながると思うが、市が関係する支援策について。

A

芸術文化活動を行う市民に対し、アーティストバンクの登録制度を設けるほか、活動経費の一部を補助する芸術文化活動事業補助金制度、全国規模の大会への出場者に対し芸術文化振興激励金を交付している。

また、佐久全国臨書展や武論尊氏による100時間漫画塾などは、市の芸術文化の発展とPR効果に寄与している。

市では今後も補助制度や、発表や活動機会の提供、人材の発掘や育成を支援していく。



QA

有機農業の現状と課題。

2020年農林業センサスによると、市内では現在232経営体が約300ヘクタール取り組んでおり、経営体全体の約8%である。通常の栽培に比べて収穫量が不安定であり、有機農業ならではの技術が必要である。また、販売先の確保に苦労されている実態がある。

Q

有機農業拡大に向けてのスケジュール感。

A 国は今年の5月に「みどりの食料システム法」を制定した。

この法律は、環境への負荷を低減することにより、環境と調和のとれた食料システムの確立を図り、農業の持続的発展に結び付けるための枠組みとなっている。市としては県との連盟で事業スケジュールを含めた基本計画を策定する。1年目より有機JAS認証を取

みどりの食料システム法を受け、 市の有機農業への考えを伺う



かとう ゆきこ
加藤 夕紀子

Q

得できるよう、試験的にほ場幹旋支援措置を講じている。また、今秋玉ねぎ生産から根菜類を中心に無農薬・無化学肥料栽培の試験栽培に取り組む予定。得られた試験結果を広く周知し、有機農業を拡大する。

A

農業経営者が自らの経営判断の中で選択していただくのが基本であるが、市としてもバイヤーや消費者への情報発信など、利用拡大に努めていく。



学校給食有機米化施策木更津市の有機米ほ場

総務文教委員会では、9月28日に教育委員会、10月4日に校長会と（仮称）佐久市いじめ防止対策に関する条例制定に向けた意見交換会を開催し、条例（素案）に対するアドバイス、教育委員会や学校の状況等についてのご意見をいただきました。

共通の意見

- 第9条（素案）で不登校と、いじめが並列に扱われているが、不登校は子供の状態であり、いじめは撲滅しなくてはいけない問題であるので、分けて考えていただきたい。
- 佐久市のカラーをだせる宣言や文言、また、佐久市が条例を制定する意義というものを入れていただきたい。
- 第7条（素案）の「保護者の責務」で子がいじめを受けた場合の対応方法も明記していただきたい。



教育委員会の主な意見

- 教育委員会では令和4年度「いじめ防止連絡協議会」設置に向けた要綱を策定中で、来年4月頃の設置を考えています。
- 9条（素案）の「佐久市不登校等対策連絡協議会」を、「いじめ防止連絡協議会」を置くに変更していただきたい。
- 10条（素案）の「いじめ問題調査委員会」は、いじめ防止対策推進法においては、「必要があると認める時」とされているので、その事を明記する必要があります。
- いじめに関しては程度があり、いじめがあるとすれば、学校内で解決するためにサポートするのが教師であり、そのためにアンテナを立てていることが大事だと考えています。
- 市内の中学でもネットいじめがあり、学校には先進地の対応を情報提供してまいります。
- 障害のある子どもへの接し方についての理解を深める必要があります。

校長会の主な意見

- いじめが起きた時の対策だけでなく、いじめが起こらないようにするために家庭での養育環境を整えるプラス思考が必要です。
- 環境作りという意味では、市民の役割が大きいと感じています。子どもを通報するような監視社会になってはいけませんが、学校と地域で、オープンに子どもを見守る環境づくりができれば良いと考えています。
- 佐久市では、以前から「Saku kidsメディア Safety」を立ち上げ、ネット関係には力を入れているので、一つの特徴といえます。
- 中学校でもネットいじめの判断は難しく、生徒とは切り離せない問題です。
- 生活記録から読み取れる情報は多いが、軋轢がない人間関係はないので、それを乗り越えて子どもは成長してゆくはずです。人間関係が豊かな市民を創るための条例制定をお願いします。



社会委員会では、9月22日に佐久市教育長・学校教育部と「子どもの権利条例」制定に向けてのアンケート調査について意見交換を行いました。

子どもたちを取り巻く現状や意識を把握するため市内の小中学生を対象にアンケート調査を行う事に関し、調査対象や内容及び方法についてのご意見をいただきました。



あなたも議会を 傍聴してみませんか。

★次の定例会（令和4年12月定例会）の日程は下欄のとおりです。

本会議同様、各常任委員会、各特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。

ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください

本会議、委員会とも傍聴の際は、マスクを着用いただき、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の様様を撮影、録音することはできません。

聴覚に障害のある方で、議会の傍聴を希望される場合、手話通訳及び要約筆記を配置いたします。事前に申込みが必要になりますので、詳しくはホームページをご覧ください。



議会だより表紙 大募集中!!

佐久市内で撮影した
行事・風景などの
写真や、**イラスト**を
募集中です。

次回2月1日発行号の締切りは、12月27日までとなっております。

2月1日発行号から応募作品は市役所市民ホールへ展示します。

詳細は、佐久市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

**今号も多数ご応募いただき
ありがとうございました。**



上記に関する問い合わせ先

佐久市議会事務局

電話 0267-62-3495（直通）

次回定例会のお知らせ 【令和4年12月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
11月20日	21	22	23	24 本会議 (開会)	25	26
27	28	29	30	12月1日	2	3
4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8	9 本会議 (議案質疑) 委員会	10
11	12 委員会	13 委員会	14 委員会	15 委員会	16	17
18	19	20 本会議 (閉会)	21	22	23	24

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

手話を学ぼう

～会話をしてみましょう～

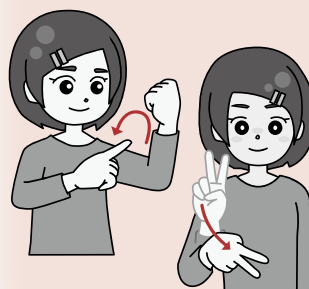
子どもの権利

【子ども】

両手を開いて手のひらを下に向けて、子どもの頭をポンポンとするように外側に移動します。

【権利】

左手を握って腕を折り曲げ、右手人差し指で力コブを描き、



YouTube佐久市議会
チャンネルでも配信中



右手で指文字の「り」を示します。

聞かせてあなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります



いわま らいき さん
(佐久城山小学校6年生)

岩間徠希さんの将来の夢は放射線技師になることです。テレビドラマの「ラジエーションハウス」を観たのがきっかけで、放射線技師が人を救うための大事な仕事の1つだということを初めて知りました。将来自分も放射線技師になり沢山の人を救いたいと思うようになりました。その夢に向かって何ができるか考えた時に、今は学校の勉強を一生懸命頑張ることが一番だと思い、現在は学校の勉強に励んでいます。そう語る岩間さんは皆のために何かやりたいとの強い気持ちを持っていて、今年は児童会の副会長となり、児童会の活動をされています。普段はサッカーもやっており、スポーツも得意な岩間さんは今年の運動会ではリレーの選手に選ばれています。

佐久っ子の夢、応援します!

●佐久平駅南土地地区画整理事業市道開通式

9月27日

去る9月27日、佐久平駅南土地地区画整理事業市道開通式が約50名の来賓出席の下、挙行されました。市道2-324号線は愛称公募により、佐久の未来の夢を花咲かせてほしい期待の道であることに願いを込め「夢佐久通り」と命名されました。道路の特徴は、電線共同溝による無電柱化が図られ、幅の広い歩道や所々に設置された休憩ベンチ、また多種の桜が植樹され、春ともなれば、満開の桜を目ですることができ、市民の交流する憩いのスポットになることは想像に難くありません。今後は、順次オープンする商業施設やマンション、ホテルと一体化し、交流人口の創出や、移住促進を牽引する、新たな街としての形成が期待されます。

当日はテープカット後、地元の岩村田保育園の園児も加わり風船を飛ばし、市道の開通を参加者全員で祝いました。



令和4年度
議会報告・意見交換会

\\ 議会と語ろう会 //

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として中止としました「議会と語ろう会」について、会場を本会議場として、11月19日(土)に開催することといたしました。ぜひ皆様の声をお聞かせください!

また、今回は、初めての試みとして、オンラインでの参加も可能としましたので、大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 令和4年 **11月19日(土)** 午前10時から
正午まで

会場 佐久市役所 議会棟

内容 第1部 議会報告(本会議場)
第2部 意見交換(議会棟内会議室)

意見交換テーマ 議会・市政に対するあなたの意見を聞かせてください(フリートーク)

会場での参加につきましては、事前申込による先着30名様までとさせていただきます。
お申込みは、来場される方は電話又はFAXで、お名前、電話番号をお知らせください。
オンライン会議(Zoom)の参加申し込みにつきましては、下記のQRコードまたは議会事務局までメールにて申し込みをお願いします。

メールでの申し込みの場合、住所・氏名・連絡先(電話番号)を必ずご記入ください。
なお、空きがある場合に限り当日も受付をいたします。

※手話通訳・要約筆記を配置いたします。

※託児が必要な方は、令和4年11月7日(月)までにお申し込みをお願いいたします。



令和元年度議会と語ろう会の様子



申込連絡先 電話 0267-62-3495(議会事務局) FAX 0267-62-7910 メール gikai@city.saku.nagano.jp

